

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2152 号

Association between unemployment and insomnia-related symptoms based on the Comprehensive Survey of Living Conditions: A large cross-sectional Japanese population survey

日本の大規模横断調査を用いた失業と不眠との関連 - 2010年国民生活基礎調査から -

前田 光哉 (まえだ みつや)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、就業状況と不眠との関連を、日本の大規模な横断調査を用いて検討することを目的としている。

厚生労働省より、20-59歳の43,865人の匿名データを得て、6つの就業状況（正社員、非正社員、自営業者、その他の労働者、失業者、非求職者）に分類し、対照群は正社員として、多変量ロジスティック回帰分析を用い、交絡因子を調整して不眠にかかる性別特異的オッズ比と95%信頼区間を計算し、さらに、精神疾患の罹患の有無、喫煙の有無および年齢で層別化して解析した。

男性では、失業者と非求職者の多変量調整オッズ比（95%信頼区間）は、それぞれ2.5（1.8-3.4）、2.1（1.2-3.7）と有意に高く、女性では、失業者の多変量調整オッズ比（95%信頼区間）は、1.9（1.5-2.5）と有意に高かった。

精神疾患の罹患の有無で層別化した結果、精神疾患に罹患していない者ではこれらの関連はより顕著に表れた。喫煙の有無と年齢で層別化した結果、これらの関連に変化はなかった。

本論文は、20～59歳の国民を代表する、偏りなくサンプリングされたデータを用い、失業者と男性の非求職者は不眠にかかる多変量調整オッズ比が有意に高いことを始めて明らかにした公衆衛生学的に意義ある論文である。

よって、本論文は博士（医学）の学位を授与するに値するものと判定した。